



編集・発行

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪府立 呼吸器・アレルギー医療センター
大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1
TEL:072-957-2121
FAX:072-958-3291
HP: <http://www.ra.opho.jp>
E-mail: kokyucen@ra.opho.jp

円滑な診療のために 診療局長兼眼科主任部長 笹部 哲生 (ささべ てつお)

9月1日から眼科部長兼任で、診療局長に就任いたしました。診療局長の主たる仕事は円滑な診療体制の追求と考えております。例えば、呼吸器総合外来は、呼吸器疾患の初診患者様に対して、たらい回しを避けるために役立っております。地域医療連携は、紹介状をお持ちの患者様に予約を取ることで、待ち時間短縮に努めております。今後も効果的な機能はすぐにでも採用するよう努力していきますので、皆様の中で効率的な診療システムに対してご意見、アイデアなどありましたら、どしどしご投書ください。



眼科に関しましては、6月から画像ファイリングシステムを導入しております。このシステムにより前眼部（瞼、結膜、角膜、虹彩、水晶体）の疾患が画像で患者様にすぐに見ただけになりました。このため、より説得力のある円滑な病状説明が可能となっております。患者様の中で、ご自身の病状の画像をご覧になりたい方は、担当医にお申し付けください。

緩和医療と麻酔科：癌性疼痛の管理と全人的苦痛の緩和

麻酔科主任部長 高内 裕司 (たかうち ゆうじ)

緩和ケアとは、主に癌などの生命を脅かす疾患に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的苦痛、精神的苦痛（不安・恐れ・うつ・孤独感など）、社会的苦痛（仕事上・経済的・家庭内）、スピリチュアルな苦痛（罪の意識・死の恐怖・死生観の悩み）などの全人的な苦痛を早期に発見し、的確な評価と治療・処置を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティ・オブ・ライフを改善するアプローチです。



最も大きな問題は癌性疼痛であり、麻酔科の主要なアプローチは癌性疼痛の管理です。もとも、「癌性疼痛緩和のガイドライン」は、癌の痛みからの開放をめざしてWHO（世界保健機関）から1986年に発表されていきました。しかし本邦では、残念ながらこれを理解していたのは、当初は一部の麻酔科医だけで、内科医などにはほとんど認識されていませんでした。結果として、麻酔科医が関与しなければ、癌性疼痛患者に対してはきわめて不適切な管理しか行われていきました。

しかしながら、この考え方も医療従事者の間に徐々に浸透してきました。さらにアメリカ議会は2001年からの10年を「痛みの10年」として、痛みをめぐる様々な問題に国家的な規模で取り組むことを表明しました。日本でも2006年にがん対策基本法が成立し、そこでは緩和ケアを早期から適切に行うことが明記されています。最近では、緩和ケアは大きく広がり、ホスピスや緩和医療専門病棟だけでなく、一般病院でも緩和ケアチームが設置されるようになってきました。冒頭で述べたように全人的医療が必要で、身体的苦痛への対処だけでは

解決しない部分がたくさんあるため、医療従事者がそれぞれの専門性を生かし、チーム医療で総合的にケアする必要があります。すなわち精神科医、薬剤師、看護師など多くの医療従事者が関与するチーム医療となってきました。

麻酔科では、緩和ケアチームの一員として、様々な鎮痛薬や鎮痛補助薬による薬物療法に関するアドバイスや、必要な場合には鎮痛手段としての神経ブロック療法などを用いて、患者管理に協力しています。また、当院では従来から緩和ケアチームが活動してきましたが、来年4月から緩和ケア病棟を設置して、本格的に緩和医療に取り組んでいく予定です。

10月の教室案内

- | | | |
|-----------|------------------|--------|
| * カンガルー教室 | ● 10月 6日・20日・27日 | 午後1時半～ |
| * 喘息教室 | ● 10月21日 | 午後2時～ |

「羽曳野市の乳がん検診 受診の流れ」の巻

放射線科 診療放射線技師
マンモグラフィ認定技師
吉田 絵未 (よしだ えみ)

記録的な猛暑もすっかりなりをひそめ、爽やかな秋風が肌をかすめ徐々に秋の深まりを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしですか？

秋には色々な秋がありますね！読書の秋・スポーツの秋・そして何より食欲の秋♪今からの時期は根菜類が旬を迎えます。根菜は体を温めてくれて食物繊維も豊富なものが多いので、新作のお菓子ばかりに走らずお野菜もしっかり食べて冬に備えて下さいね！



さて今月号は「羽曳野市の乳がん検診 受診の流れ」についてお届けします。

・まず予約方法ですが、お電話で呼吸器アレルギー医療センターにご連絡頂き、電話交換手に検診の予約の旨をお伝え下さい。地域連携室につながりお手続きに入ります。

・次に受付け時期ですが、**11月分の予約を10月1日午前9時より行います**(1日が休日の場合は休み明けになります)。混み具合にもよりますが、だいたい受け付け開始日のお昼過ぎには予約がいっぱいになります。お早めのお電話をお願いいたします。

・当病院では(対象の方のみ)同時に子宮がん検診もお受け頂くことが可能です。ご予約の際に同時受診希望の旨お伝え下さい。同時受診の方は当日産婦人科で問診・触診をお受け頂きます。また、子宮がん検診対象外の方やすでに子宮がん検診がお済みの方は外科で問診・触診をお受け頂きます(検査内容に違いはありません)。

・最後に結果ですが、産婦人科でお受け頂いた方は次回外来予約をお取り頂いて子宮がん検診の結果と同時にお伝えします。外科でお受け頂いた方は結果が出次第、郵送で結果用紙をお送りします。結果用紙には「異常なし」か「要精密検査」に○がついていますが**要精密検査に○がついているからといってがんとは限りません**。心配かとは思いますが、勇気を持って精密検査にお越し下さい(精密検査にお越しの場合は**乳腺外科**にお願いします)。

来月号は乳がんの放射線治療についてお送りします、お楽しみに♪

○第28回羽曳野市 ふれあい健康まつり○

日時：平成22年10月17日（日）開場10：00 終了15：00

場所：はびきのコロセアム（羽曳野市南恵我之荘4丁目237-4）

※当センターも参加します。みなさま是非ご参加ください。

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

～あなたの肺は元気？～

①結核予防キャンペーン ②たばこ病予防啓発 ③肺年齢測定 ④健康相談 など・・・



献血にご協力ください！！

平成22年10月13日（水）午前10時～11時30分・午後0時30分～4時30分

場所：管理診療棟前 対象：400ml献血（18歳以上、体重50kg以上の方）